

平成25年度業務棚卸表(政策体系順)

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要	担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名			フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成25年度事業量		平成24年度事業量		平成23年度事業量	平成22年度事業量
細事業名称		負担金・補助金(ソフト事業)					
050200-106	04-01-01	06	一般	法令に特に定めのないもの		適切な時期に有害鳥獣の捕獲を実施し農作物及び市民生活への被害防止を図る。有害鳥獣による被害を最小限にとどめるため、協議会に負担金を支出し、協議会から猟友会に捕獲事業を委託し、適切な時期に捕獲を実施し農作物及び市民生活への被害防止を図る。	農業振興課
有害鳥獣捕獲連絡協議会負担金(事務局事務を含む)	豊かな自然環境の保全	負担金・補助金(ソフト事業)					2,839
050200-106-01	市民	【市長許可】一斉捕獲1回:カラス1,100羽、カルガモ200羽、ゴイサギ200羽、カワウ450羽、ハクビシン制限なし、ニホンジカ20頭、地域捕獲及び農業者の直接申請:申請の都度対応 【県南広域振興局長許可】クマ等捕獲:申請の都度対応		【市長許可】一斉捕獲3回カラス677羽、カルガモ28羽、ゴイサギ1羽、カワウ36羽、地域捕獲ハクビシン2回2頭、カワウ1回0羽、カラス1回0羽、農業者の直接申請カラス2回4羽、ノウサギ1回0羽 【県南振興局長許可】クマ3回許可7頭内捕獲数1頭		【市長許可】一斉捕獲3回カラス528羽、カルガモ16羽、ゴイサギ15羽、カワウ62羽、地域捕獲カラス1回2羽、カワウ1回0羽 【県南振興局長許可】クマ4回許可5頭内捕獲数3頭 イノシシ1回許可4頭内捕獲数0頭	【市長許可】一斉捕獲3回カラス499羽、カルガモ27羽、ゴイサギ50羽、カワウ201羽、地域捕獲カラス3回0羽 【県南広域振興局長許可】クマ2回許可を4頭内捕獲数3頭 ニホンザル1頭
030200-108	04-01-01	01	一般	法令に特に定めのないもの		自然公園保護管理員の業務日数を(2人合わせて)年間90日以上とし、違反率0%の状態を維持していく。栗駒国立公園内の動植物を保護するため、自然公園保護管理員を2名委嘱し、管理員の巡回により自然公園の保全状況を把握し、利用者の違反行為を未然に防ぎ、利用者の事故予防の啓蒙普及に努める。	環境課
自然公園保護管理員設置	豊かな自然環境の保全	ソフト事業(義務)					884
030200-108-01	一般	業務実日数(遠藤管理員60日+及川管理員60日)合計120日、違反率0%		業務実日数(遠藤管理員50日+及川管理員50日)100日、違反率0%		業務日数94日、違反率0%	業務日数99日、違反率0%
030200-109	04-01-01	06	一般	法令に特に定めのないもの		河川の水質環境の保全及び河川敷等への不法投棄防止に寄与する。和賀川流域の北上市及び西和賀町2市町及び2市町内にある事業所等で構成する団体への負担金。	環境課
和賀川の清流を守る会負担金(事務局事務を含む)	豊かな自然環境の保全	負担金・補助金(ソフト事業)		北上市環境基本計画			2,521
030200-109-01	市民	負担金70千円、河川パトロール及び清掃活動2回開催(参加者:1回目71人、2回目48人)、自然探索会1回開催(参加者21人)、親水美化活動(7団体参加)、休廃止鉱山水質調査(5箇所)、和賀川河川敷環境整備1回、外来生駆除1回、流域団体連携イベント1回、会報発行1回		負担金額70千円 ・河川パトロール及び清掃活動 2回開催(参加者:1回目71人、2回目62人) ・自然探索会1回開催(参加者26人) ・親水美化活動(ボーイスカウト等7団体参加) ・BOD値0.95mg/L(九年橋、目標 2.0mg/L以下) ・休廃止鉱山水質調査(5箇所) ・和賀川河川敷環境整備1回		負担金額70千円 ・河川パトロール及び清掃活動 1回開催(参加者54人) ・自然探索会1回開催(参加者30人) ・不法投棄禁止看板設置(23年度なし) ・親水美化活動参加者延べ81人 ・BOD値0.63mg/L(九年橋、目標2.0mg/L以下)	負担金額70千円
030200-116	04-01-01	02	一般	法令に特に定めのないもの		自然や文化に恵まれた自然歩道を多くの人が歩くことによって、自然への理解を深めてもらい、利用者数が増加することを目的とする。環境省から指定されている市内3カ所の東北自然歩道の管理業務(刈払い、道標管理)及び自然保護啓発行事の開催等。	環境課
東北自然歩道管理業務等自然保護業務	豊かな自然環境の保全	施設管理・維持補修事業					406
030200-116-01	一般	「ミズバショウのみちコース」と「桜とツツジのみちコース」の刈払い業務年1回実施(総面積3,533㎡)		1 刈払い業務年0回(総面積0㎡)		1 刈払い業務年1回(総面積3,500㎡)	1 刈払い業務年1回(総面積3,500㎡)

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要		担当課名	
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名				フルコスト(千円)	
細事業コード	事業の対象	平成25年度事業量		平成24年度事業量		平成23年度事業量		平成22年度事業量	
細事業名称									
050200-118	04-01-01	01	一般	法令の実施義務(自治事務)		カラスやカワウ、クマなどの有害鳥獣による農作物被害や人身被害を最小限にする。必要に応じた野生動物の保護により、野生動物と人間の共生を目指す。有害鳥獣の捕獲許可と鳥獣の保護事務		農業振興課	
鳥獣保護及び捕獲許可事業	豊かな自然環境の保全	ソフト事業(義務)	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、岩手県の事務を市町村が処理することとする事務処理特例に関する条例	第10次鳥獣保護計画				5,938	
050200-118-01	市民	捕獲許可27件(一斉捕獲1件、地域捕獲件、農業者の申請24件)	捕獲申請(カラス、カルガモ、ゴイサギ、カワウ、ハクビシン、スズメ、ノウサギ、クマ、キツネ)捕獲数722羽(頭)	捕獲許可10件(一斉捕獲3件、地域捕獲4件、農業者の申請3件)	捕獲申請(カラス、カルガモ、ゴイサギ、カワウ、ノウサギ、クマ、イノシシ)2288頭	捕獲許可9件(一斉捕獲3件、地域捕獲7件)	捕獲申請(カラス、カルガモ、ゴイサギ、カワウ、クマ、イノシシ)2109頭	捕獲許可9件(一斉捕獲3件、地域捕獲6件)	捕獲申請(カラス、カルガモ、ゴイサギ、カワウ、クマ、ニホンザル)2605頭
030200-120	04-01-01	05	一般	法令に特に定めのないもの		自然保護思想の普及啓発。自然環境について市民から情報提供を受け営生息地や植物(水芭蕉、座禅草)の現地調査を実施し、調査結果を公表。		環境課	
環境指標生物・植物調査事業	豊かな自然環境の保全	ソフト事業(任意)						1,072	
030200-120-01	市民	ホテル調査46箇所、うち生息確認31箇所		・ホテル調査 生息地71箇所 ・水芭蕉14箇所(博物館の研究報告含む) ・座禅草7箇所	陸生巻き貝 197名調査、5種592匹確認 水芭蕉 7箇所確認 座禅草 3箇所確認	陸生巻き貝 197名調査、5種592匹確認 水芭蕉 7箇所確認 座禅草 3箇所確認			
030200-121	04-01-01	05	一般	法令に特に定めのないもの		自然保護活動の協働(将来的に)。自然保護団体関係者の連絡会を開催する。自然保護団体へ岩手中部地区内の情報を提供。		環境課	
自然保護団体等育成事務	豊かな自然環境の保全	ソフト事業(任意)						919	
030200-121-01	市民	市内自然保護団体数16団体 連絡会議1回開催(11団体参加)		市内自然保護団体数16団体 連絡会議1回開催(11団体参加)		市内自然保護団体数 17団体	市内自然保護団体数 17団体		
030200-122	04-01-01	05	一般	法令に特に定めのないもの		自然環境の保全を図り、市民生活を豊かにする。自然への親しみ方や自然保護について、登山者などに指導助言し、自然環境の保全を図り、市民生活を豊かにする。		環境課	
グリーンボランティア設置事業	豊かな自然環境の保全	ソフト事業(任意)							
030200-122-01	市民	北上市自然保護パトロール員10人を委嘱	平成22年度設置要綱制定 北上市自然保護パトロール員人数11人 (平成24年度末現在)	平成22年度設置要綱制定 北上市自然保護パトロール員人数11人 (平成23年度末現在)	平成22年度設置要綱制定 北上市自然保護パトロール員人数0人 (H23委嘱予定)				
030200-102	04-01-02	05	一般	法令の実施義務(自治事務)		市、事業所、市民が連携して環境に配慮したまちづくりをめざしていく。北上市環境基本計画等を実効ある計画として推進するため、環境保全推進連絡会議・きたかみエコネットワーク推進会議において、前年度実績及び新年度事業計画の評価・確認・意見交換等を行うとともに、北上市環境を守り育てる基本条例第9条に基づく年次報告書(事業実施結果等)を取りまとめた環境報告書を作成し公表する。		環境課	
北上市環境基本計画推進事業	環境監視体制の強化と公害の防止	ソフト事業(任意)	環境基本法、北上市環境を守り育てる基本条例	北上市総合計画、北上市環境基本計画、地域新エネルギービジョン等				3,096	
030200-102-01	市、事業所、市民	環境保全推進連絡会議を年1回、きたかみエコネットワーク推進会議を2回開催。 年次報告書(環境報告書)の発行	環境保全推進連絡会議を年1回、きたかみエコネットワーク推進会議を2回開催。 年次報告書(環境報告書)の発行	環境保全推進連絡会議を年2回、きたかみエコネットワーク推進会議を2回開催。 年次報告書(環境報告書)の発行	環境保全推進連絡会議を年2回、きたかみエコネットワーク推進会議を2回開催。 年次報告書(環境報告書)の発行				

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要		担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名				フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成25年度事業量		平成24年度事業量		平成23年度事業量		平成22年度事業量
細事業名称								
030200-102-02	北上市環境基本計画策定事業	環境保全推進会議1回、きたかみエコネットワーク推進会議2回、平成25年度版環境報告書作成・公表		H24年度実施なし。		北上市環境基本計画等検討委員会、北上市環境審議会、きたかみエコネットワーク推進会議、意見募集(パブリックコメント、議会全員協議会)等での検討を踏まえ次期環境基本計画を策定し、庁議決定した。		北上市環境基本計画等検討委員会、北上市環境審議会、きたかみエコネットワーク推進会議、意見募集(パブリックコメント、議会全員協議会)等での検討を踏まえ次期環境基本計画を策定し、庁議決定した。
400100-111		04-01-02	02	一般	法令の実施義務(自治事務)		絶縁油中に有害物質「PCB」が含まれている電気機器の適正な廃棄処理。絶縁油中に有害物質「PCB」が含まれている電気機器を、北海道室蘭市にある専用処理施設まで収集運搬し、廃棄処理する。	
小中学校PCB廃棄処分事業	環境監視体制の強化と公害の防止	施設管理・維持補修事業		ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法				458
400100-111-01	PCB廃棄物(コンデンサ、トランス等)	事業なし		事業なし		事業なし		コンデンサ2台廃棄処理
小学校PCB廃棄処分事業								
400100-111-02	PCB廃棄物(コンデンサ、トランス等)	事業なし		事業なし		事業なし		コンデンサ1台廃棄処理
中学校PCB廃棄処分事業								
030200-113	04-01-02	05	一般	法令に特に定めのないもの		地域環境の保全及び地球環境の改善。市長の諮問等に応じ環境の保全及び創造に関する基本事項を調査審議する審議会。		環境課
環境審議会委員設置	環境監視体制の強化と公害の防止	ソフト事業(任意)		北上市環境を守り育てる基本条例第26条～第32条		北上市環境基本計画		1,408
030200-113-01	環境審議会委員設置	市民	委員20人による審議会を2回開催。諮問していた「北上市再生可能エネルギー活用推進計画の策定」についての答申を受けた。	審議する案件がなかったため、開催なし。		審議する案件がなかったため、開催なし。		審議会委員20人による審議会を3回開催。前年度に諮問していた「北上市環境基本計画、ごみ処理基本計画の策定」について答申を受けた。また、環境保全協定(案)に対する意見・提言を頂いた。
090200-122	04-01-02	05	一般	法令の実施義務(自治事務)		コンデンサに含まれる有害物質PCBが、国の基準に沿って安全に処分されている。市民会館で使用したコンデンサを安全に保管し処理する。		生涯学習文化課
PCB廃棄物処分事業	環境監視体制の強化と公害の防止	ソフト事業(任意)		岩手県ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画				77
090200-122-01	旧市民会館当時のコンデンサ98台	25年度 保管届出1件		24年度 保管届出1件		23年度はなし		運搬及び処理 1台
PCB廃棄物処分事業								
030200-126	04-01-02	05	一般	法令に特に定めのないもの		これまでの行政主導の環境行政から、企業、市民及び行政の協働による環境基本計画の推進体制を構築する。困りやすい地域環境を創造し、もってよりよい北上市の環境を創造する。市民、企業、市民団体及び関係機関で構成する「北上市快適環境づくり懇話会」を設立し、環境報告会、全体集会を開催した。		環境課
北上市快適環境づくり懇話会推進事業	環境監視体制の強化と公害の防止	ソフト事業(任意)		北上市環境基本計画				
030200-126-01	北上市快適環境づくり懇話会推進事業	市民、事業者、市民団体、関係機関	・未実施 ・企業(4社)が主催する環境報告会を県と市が共催で開催	環境報告会4回開催(企業4社が主催、市と県が共催)		環境報告会4回開催(企業4社が主催、市と県が共催)		3月に研修会を予定したが、震災の影響により中止。

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要	担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名			フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成25年度事業量		平成24年度事業量		平成23年度事業量	平成22年度事業量
細事業名称							
030200-201	04-01-02	01	一般	法定受託事務		事業所及び協定締結事業所が、法令及び市との協定値を遵守することによって、地域環境の保全、地球環境の改善を目指す。法令及び誘致企業等と締結した大気、水質、騒音等に関する環境保全協定により、事業所が実施する測定値の監視及び、市の立入り測定等により地域環境の保全を行う。市内の河川水、湧水、地下水の水質測定や騒音、振動測定により現状ならびに経年変化を把握し、データを今後の環境施策に活用する。	環境課
公害防止監視測定事業	環境監視体制の強化と公害の防止	ソフト事業(義務)		水質汚濁防止法、大気汚染防止法等	北上市環境基本計画		16,648
030200-201-01	事業所	<ul style="list-style-type: none"> 協定締結事業所立入調査 ①事業所排水測定17事業所 ②事業所地下水測定11事業所 ③ゴルフ場排水測定2事業所 ④ばい煙測定8事業所 ⑤排ガス洗浄塔排ガス測定1事業所 ⑥悪臭測定7事業所 ・市内中小河川水質調査20河川(年3回) ・地下水水質測定 ①地下水27箇所②湧水1箇所 ・自動車騒音常時監視業務 ・降下ばいじん総量測定 		<ul style="list-style-type: none"> 協定締結事業所等立入調査 ①事業所排水 17事業所 ②事業所地下水11事業所 ③ゴルフ場排水2事業所 ④ばい煙等測定8事業所 ⑤排ガス洗浄塔排ガス測定1事業所 ⑥悪臭測定 6事業所 ・市内中小河川水質調査20河川(年3回) ・市内地下水・湧水水質調査 地下水 27箇所 湧水 1箇所 ・自動車騒音常時監視4路線 ・企業による環境汚染等に伴う臨時測定4箇所 ・降下ばいじん総量測定1箇所 		<ul style="list-style-type: none"> 協定締結事業所等立入調査 工場排水 16事業所 ばい煙等測定 8事業所 悪臭測定 5事業所 市内中小河川水質調査19河川(年3回) 市内地下水・湧水水質調査 地下水 19箇所 湧水 10箇所 市内一般道路騒音・振動測定 騒音 12箇所 振動 4箇所 企業による環境汚染等に伴う臨時測定 地下水 7箇所 	<ul style="list-style-type: none"> 協定締結事業所等立入調査 工場排水 16事業所 ばい煙等測定 8事業所 悪臭測定 5事業所 市内中小河川水質調査19河川(年3回) 市内地下水・湧水水質調査 地下水 19箇所 湧水 10箇所 市内一般道路騒音・振動測定 騒音 12箇所 振動 4箇所 企業による環境汚染等に伴う臨時測定 地下水 7箇所
030200-201-02	市民、事業所	公共用水域へ流出(国交省報告)8件 路上へ流出 12件		公共用水域へ流出(県報告有)1件 公共用水域へ流出(県報告無)9件 路上へ流出 10件 上記中土壌汚染があったもの 2件		公共用水域へ流出(県報告有)4件 公共用水域へ流出(県報告無)3件 路上へ流出 38件 上記中土壌汚染があったもの 5件	公共用水域へ流出(県報告有)4件 公共用水域へ流出(県報告無)3件 路上へ流出 38件 上記中土壌汚染があったもの 5件
030200-202	04-01-02	04	一般	(未入力)		北上川及び流域支流の水質環境の保全。北上川流域で油流出等の水質汚濁事故が発生した際の緊急連絡・対策組織への負担金。国土交通省、岩手県、宮城県、流域市町村、浄水場、取水企業で構成。	環境課
北上川水系水質汚濁対策連絡協議会負担金	環境監視体制の強化と公害の防止	負担金・補助金(義務負担金)					1,474
030200-202-01	市民、事業所	<ul style="list-style-type: none"> 「川をきれいにする児童図画作品」の募集(ポスター117点、図画52点) 11月にはオイルフェンス設置訓練及び水質事故通報演習を実施した。 また、6月の委員会、3月の幹事会(一関市で開催)に出席し、情報交換を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 「川をきれいにする児童図画作品」の募集(ポスター136点、図画72点)オイルフェンス設置訓練及び水質事故通報演習を実施した。 また、6月の委員会、3月の幹事会(一関市で開催)に出席し、情報交換を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 「川をきれいにする児童図画作品」の募集、オイルフェンス設置訓練及び水質事故通報演習を実施した。 8月の委員会(震災により書面評決)、3月の幹事会(一関市で開催)に出席し、情報交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 「川をきれいにする児童図画作品」の募集、オイルフェンス設置訓練及び水質事故通報演習を実施した。 6月の委員会(栗原市で開催)と3月の幹事会(一関市で開催)に出席し、情報交換を行った。
030200-203	04-01-02	05	一般	法令に定めはあるが任意の自治事務		地域環境の保全及び地球環境の改善。誘致企業等との環境保全協定の締結の際、大学教授等の専門的知識を有する方から技術的な意見を聴くための顧問官的な組織。	環境課
環境保全専門委員設置	環境監視体制の強化と公害の防止	ソフト事業(任意)		地方自治法第174条、北上市環境保全専門委員設置規則	北上市環境基本計画		1,776

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要		担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名				フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成25年度事業量		平成24年度事業量		平成23年度事業量		平成22年度事業量
細事業名称								
030200-203-01 環境保全専門委員設置	市民、事業所	環境保全専門委員(県立岩手大学教授、岩手大学工学部教授、新潟薬科大学名誉教授)計3名。専門委員会を年2回開催。地域生物多様性保全活動支援事業の公募に向けた具体的な取り組みについて助言を頂いた。		環境保全専門委員(県立岩手大学教授、岩手大学工学部教授、新潟薬科大学名誉教授)計3名。専門委員会1回開催。 ①北上市内における放射線測定結果と今後の放射能監視測定のあり方について ②生物生態系地域計画策定に向けた助言(提言)を頂いた。		環境保全専門委員(岩手大学農学部名誉教授、岩手大学工学部教授、新潟薬科大学名誉教授)計3名。専門委員会1回開催。 ①北上市内における放射線測定結果と今後の放射能監視測定のあり方について ②福島原発事故に伴う放射能汚染の実態と今後の推移についての助言(提言)を頂いた。		環境保全専門委員(岩手大学農学部名誉教授、岩手大学工学部教授、新潟薬科大学名誉教授)計3名。専門委員会1回開催。 平成19年度後期から取り組んできた環境保全協定見直しの進捗状況や平成22年度策定の新環境基本計画に対する意見や提言を聴取。また、TDK-MCCの工場視察も同時実施。
030200-204 環境保全協定	04-01-02	05	一般	法令に特に定めのないもの		地域環境の保全。誘致企業等と法基準を更に厳しくした大気、水質、騒音等に関する保全協定を締結。		環境課 4,364
030200-204-01 環境保全協定	環境監視体制の強化と公害の防止	ソフト事業(任意)		北上市環境を守り育てる基本条例第13条/環境の保全に関する協定の締結指針		北上市環境基本計画		
030200-204-01 環境保全協定	市民	現行の環境保全協定を全面的に見直し、協定締結指針を制定し、指針に基づき締結を申し入れた。 平成25年度新規締結企業:0社 全協定締結企業:59社		現行の環境保全協定を全面的に見直し、協定締結指針を制定し、指針に基づき締結を申し入れた。 平成24年度新規締結企業:0社 全協定締結企業:59社		現行の環境保全協定を全面的に見直し、協定締結指針を制定し、指針に基づき締結を申し入れた。 平成23年度締結企業:0社 全協定締結企業:58社		現行の環境保全協定を全面的に見直し、協定締結指針を制定し、指針に基づき締結を申し入れた。 平成22年度締結企業:3社 全協定締結企業:54社
030200-205 専任環境保全監視員設置事業	04-01-02	05	一般	法令に特に定めのないもの		市民が安全に、安心して暮らせるように、環境汚染の兆しをパトロールで早期に発見し、公害の発生を未然に防止する。【環境監視員の役割】 <input type="checkbox"/> 工場、事業場等の施設の監視パトロール <input type="checkbox"/> 法令等に基づく立入検査補助 <input type="checkbox"/> 不法投棄を防止するための監視パトロール <input type="checkbox"/> 油流出事故等突発的な事案の対応補助		環境課 4,087
030200-205-01 専任環境保全監視員設置事業	市民	市内各地の環境監視パトロール(ほぼ毎日) 事業所立入補助 油流出事故対応補助 放射線測定補助		市内各地の環境監視パトロール(ほぼ毎日) 事業所立入補助 油流出事故対応補助 放射線測定補助		市内各地の環境監視パトロール(ほぼ毎日) 事業所立入補助 油流出事故対応補助		市内各地の環境監視パトロール(ほぼ毎日) 事業所立入補助 油流出事故対応補助
030200-207 生活環境苦情対応	04-01-02	01	一般	法定受託事務		苦情原因の究明及び可能な限りの除去。野焼き、騒音、悪臭等の苦情についての対応処理。		環境課 7,734
030200-207-01 生活環境苦情対応	環境監視体制の強化と公害の防止	ソフト事業(義務)		水質汚濁防止法、騒音規制法他環境保全関連法令		北上市環境基本計画		
030200-207-01 生活環境苦情対応	市民、事業所	苦情処理件数合計件 大気(野焼き含む)8件 水質(油事故含む)22件 悪臭7件 騒音11件 振動2件 土壌4件 その他3件		苦情処理件数合計74件 大気(野焼き含む)15件 水質(油事故含む)32件 悪臭14件 騒音13件 土壌9件 その他2件		苦情処理件数合計40件 大気(野焼き含む)8件 水質(油事故含む)12件 悪臭9件 騒音10件 土壌1件		苦情処理件数合計40件 大気(野焼き含む)8件 水質(油事故含む)12件 悪臭9件 騒音10件 土壌1件
030200-208 騒音規制事務	04-01-02	01	一般	法令の実施義務(自治事務)		騒音規制法第3条第1項及び県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第33条第1項に基づき、市内における特定工場等、騒音特定工場等、特定建設作業及び自動車から発生する騒音を規制する事務を行うものである。都市計画の用途地域の変更が生じた場合、騒音規制地域の指定変更を行うものである。なお、地域指定は、規制基準を関係者に義務付けるものであることから、地域を指定するときは地域の範囲を公示しなければならない。		環境課 3,829
030200-208 騒音規制事務	環境監視体制の強化と公害の防止	ソフト事業(義務)		騒音規制法/県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例				

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要		担当課名	
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名				フルコスト(千円)	
細事業コード	事業の対象	平成25年度事業量		平成24年度事業量		平成23年度事業量		平成22年度事業量	
細事業名称									
030200-208-01 騒音規制事務	市民、事業者	人口割分、事業所割分にて事務量を算出。(110,000円)		都市計画の用途地域の変更に伴い、法の騒音規制地域の指定を一部変更することについて、平成21年4月1日付けで北上市長による告示を行った。		都市計画の用途地域の変更に伴い、法の騒音規制地域の指定を一部変更することについて、平成21年4月1日付けで北上市長による告示を行った。		都市計画の用途地域の変更に伴い、法の騒音規制地域の指定を一部変更することについて、平成21年4月1日付けで北上市長による告示を行った。	
030200-103 環境意識啓発事業	04-01-03 地球温暖化防止対策の推進	05 ソフト事業(任意)	法令に特に定めのないもの		北上市環境基本計画、地域新エネルギービジョン		自然の大切さや環境に配慮した生活、事業活動の必要性を理解し、実践してもらうこと。きたかみエコフェスタ、環境展、環境ウォッチング、小学校4年生親子を対象とした子どもエコチャレンジの4事業を実施(きたかみエコフェスタと環境ウォッチングは隔年相互開催)	環境課 2,675	
030200-103-01 環境講座	市民、小中学生	出前講座受託件数:1回 「外来生物にご注意」1回		出前講座受託件数:9回 「防ごう地球温暖化～いま私たちにできること～」1回、「クマの生態を理解しよう～思わぬ被害を避けるために～」2回、「カラスの生態を理解し、その被害を未然に防ごう」6回		出前講座受託件数:7回 「防ごう地球温暖化～いま私たちにできること～」1回、「クマの生態を理解しよう～思わぬ被害を避けるために～」1回、「カラスの生態を理解し、その被害を未然に防ごう」5回		出前講座受託件数:5回 「防ごう地球温暖化～いま私たちにできること～」2回、「クマの生態を理解しよう～思わぬ被害を避けるために～」2回、「カラスの生態を理解し、その被害を未然に防ごう」1回	
030200-103-02 環境展	市民	開催1回 (まるごとフェスタとして開催)を予定していたが、雨天中止。		開催1回、入場者数約3,000人 (まるごとフェスタとして開催)		開催1回、入場者数約1,700人		入場者数約2,500人	
030200-103-03 きたかみ環境ウォッチング	親子	実施なし。		H24年度は実施実績なし。		冬の星空観察会(天体観測、ビデオ上映、光害についての講義) ・1回開催 ・参加者14名(事務局3名)		22年度は実施せず。	
030200-103-04 子どもとはじめる暮らしのエコチャレンジ	小学4年生(親子)	参加校17校 取組人数982人		参加校数18校 取組人数880人		参加校数18校 取組人数986人		参加校数18校 取組人数906人	
400100-113 事務局全体省エネルギー管理事業	04-01-03 地球温暖化防止対策の推進	03 内部管理事務	法令の実施義務(自治事務)		エネルギー管理。個々の施設ごとの「管理標準」(現有機器の台数、規格、性能について誰でもわかるようにマニュアル化したもの)の作成。定期報告書や中長期計画(=省エネに向けた設備投資計画書)の作成。		教育部総務課 2,433		
400100-113-01 事務局全体省エネルギー管理事業	小学校・中学校・幼稚園・保育園・給食セン	施設台帳整理(15施設) 中長期・定期報告書作成 管理標準作成		施設台帳整理(15施設) 中長期・定期報告書作成 管理標準作成		施設台帳整理(15施設) 中長期・定期報告書作成 管理標準作成		施設台帳整理(15施設) 中長期・定期報告書作成 管理標準作成	
030200-114 北上市役所地球温暖化対策推進実行計画推進事業	04-01-03 地球温暖化防止対策の推進	05 ソフト事業(任意)	法令の努力義務(自治事務)		地球温暖化対策の推進に関する法律 北上市環境基本計画、北上市役所地球温暖化対策推進実行計画		市役所の活動(環境マネジメントシステム範囲施設でのエネルギー使用+清掃事業所でのごみ焼却)から排出される温室効果ガス排出量を、平成15年度～22年度で、平成13年度比4%削減する。地球温暖化対策の推進に関する法律で、市町村は一事業所として温室効果ガス排出抑制の計画を立て、実行していく責務を課せられている。具体的取り組み内容は環境マネジメントシステムで実施しているエコチャレンジにより取り組む。		環境課 1,102

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要	担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名			フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成25年度事業量		平成24年度事業量		平成23年度事業量	平成22年度事業量
細事業名称							
030200-114-01 北上市役所地球温暖化対策推進実行計画推進事業	職員、市民	24年度の市役所の活動(環境マネジメントシステム範囲施設でのエネルギー使用+清掃事業所でのごみ焼却)の総量を集計し、温室効果ガス排出量に換算して東北経済産業局長等に報告した。24年度実績はエネルギー起源6,655t-CO2、非エネルギー起源11,713t-CO2		市役所の活動(環境マネジメントシステム範囲施設でのエネルギー使用+清掃事業所でのごみ焼却)の総量を年1回集計し、温室効果ガス排出量に換算して報告。平成23~27年度を取組期間とした、第二次北上市役所地球温暖化対策推進実行計画を策定。23年度は目標値10,578t-CO2(21年度実績値)に対し6%削減を目標に取り組んだ。		市役所の活動(環境マネジメントシステム範囲施設でのエネルギー使用+清掃事業所でのごみ焼却)の総量を年1回集計し、温室効果ガス排出量に換算して報告。平成23~27年度を取組期間とした、第二次北上市役所地球温暖化対策推進実行計画を策定。22年度は、目標値10,831t-CO2に対し、実績10,733t-CO2(H13年度比4.9%削減)。	市役所の活動(環境マネジメントシステム範囲施設でのエネルギー使用+清掃事業所でのごみ焼却)の総量を年1回集計し、温室効果ガス排出量に換算して報告。H21年度は、目標値10,973t-CO2に対し、実績10,578t-CO2(H13年度比6%削減)。
030200-127 新エネルギー普及促進事業	04-01-03 地球温暖化防止対策の推進	05	一般	法令に特に定めのないもの		新エネルギーの導入を促進し、温室効果ガスの排出を抑えた低炭素社会を形成する。国・県等の補助事業を活用して、新エネルギーの公共施設等への率先導入を進めることにより、新エネルギー導入に関する市民の意識啓発を図る。公共施設に新エネルギーを導入し、北上市地球温暖化対策推進実行計画に定める温室効果ガス排出削減目標達成につなげる。	環境課 3,905
030200-127-01 新エネルギー普及促進事業	市公共施設、市民、事業者	グリーンニューデール基金事業実施：交流センター14館太陽光パネル+蓄電池(設計のみ実施、工事26年度繰越)、本庁舎ソーラー街路灯6基(入札不調、計画見直し)、26年度事業申請(交流センター2館、北上勤体、本庁舎)、説明会・研修会参加12回		企業局グリーンエネルギー導入支援事業申請・実施1件(清掃事業所)、地域グリーンニューデール基金事業実施1件(市営駐車場照明LED化事業)、GND基金事業申請・実施1件(交流センター・北上勤体ソーラー外灯)、GND基金事業事前協議終了1件(交流センター太陽光発電設備)、大規模太陽光発電候補地紹介(県事業と連携)、説明会・研修会参加11回		企業局グリーンエネルギー導入支援事業検討(事業実施なし)、地域グリーンニューデール基金事業申請2件(うち採択1件：市営駐車場照明LED化事業)、環境省3次補正グリーンニューデール基金事業計画(第1次収容避難所・本庁舎への再エネ設備の導入)、大規模太陽光発電導入検討(県事業と連携)、説明会・研修会参加6回	
030200-131 再生可能エネルギー活用計画推進事業	04-01-03 地球温暖化防止対策の推進	05	一般	法令に特に定めのないもの		地域に賦存する再生可能エネルギーを積極的に活用し、低炭素で災害に強いまちが実現していること。住民が地球環境や地域環境に負荷をかけない暮らし方を実践していること。低炭素社会の実現を目指し、地域に賦存する再生可能エネルギーの積極的な活用と省エネルギーの推進を両軸にした地球温暖化防止の方策を定め推進するために、再生可能エネルギー活用推進計画を策定するもの。	環境課 13,778
030200-131-01 再生可能エネルギー活用計画策定事業	市民	基礎調査結果分析、既存施策整理、市内ヒアリング3回、ビジョン検討、政策施策検討、計画書とりまとめ、再エネ活用推進委員会3回、庁内策定委員会3回、パブリックコメント、庁議決定、計画策定8月末、計画書印刷9月末		計画策定検討、庁議決定、業者選定プロポーザルコンペ実施、業者との契約締結、基礎調査詳細検討、過去の施策整理、賦存量調査、市民アンケート(1,000人)、高校生アンケート(市内4校2学年)、事業者アンケート(300社)、地域ヒアリング(5か所)、連携可能性ヒアリング(2回)、再エネ活用推進委員会(1回)、庁内策定委員会(1回)			
030200-131-02 再生可能エネルギー活用計画推進事業	市民、企業、事業所	黒工×黒岩プロジェクト(黒岩見学会、キックオフWS、W-BRIDGE申請/採択、黒工事業見学、小中学校出前授業、活動報告会)、環境展(近未来エネルギーフェア9/21-22、テクノメッセ10/4-6、バイオマスフェア1/18-19、市内小水力発電可能性検討事業(農山漁村活性化再エネ事業化推進事業応募・採択、概念調査委託、検討委員会2回、現地踏査1回、地域説明会1回)、区長協議会学習会1回、広報さたかみ再エネ特集1回					

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分	事業の目的と概要	担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名		フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成25年度事業量	平成24年度事業量	平成23年度事業量	平成22年度事業量	
細事業名称						
030200-132	04-01-03	05	一般	法令に特に定めのないもの	市の再生可能エネルギー比率を高め、非常時の避難所の電源確保を行い災害に強い街を目指す。メガソーラー整備及び運営・本庁舎へ蓄電池、EV車、急送充電器、LED照明を設置しBEMSを通じて制御する。北上陸上競技場へ太陽光発電システム、蓄電池、LEDソーラー街路灯を設置する。地区交流センターにEV車、充電器、給電制御装置を設置する。オフィスアルカディアに太陽光発電システム、蓄電池を設置する。・上記の分散電源をCEMSを構築し最適制御を行う。	環境課
スマートコミュニティ導入促進事業	地球温暖化防止対策の推進	ソフト事業(任意)		北上市総合計画、北上市環境基本計画		3,558
030200-132-01	市民、職員、企業	北上第1・第2ソーラー発電所(かむいソーラー)構築。北上第1ソーラー発電所3月4日、北上第2ソーラー発電所3月6日売電開始。		<ul style="list-style-type: none"> ・メガソーラー 2.9Mw、本庁舎 蓄電池300kW、EV車1台、急速充電器1基、LED照明、BEMS ・北上陸上競技場 太陽光システム30kW、蓄電池15kW、LED街路灯20基 ・地区交流センター EV車7台、充電器7基、給電制御装置5カ所、外部供給装置7基 ・オフィスアルカディア北上 太陽光発電システム20kW、蓄電池15kW ・CEMSの整備 		
スマートコミュニティ導入促進事業						
030200-134	04-01-03	07	一般	法令に特に定めのないもの	再生可能エネルギーを有効活用することにより、災害に強くかつ継続可能な事業を有機的に結合した「自立的」かつ「接続可能」な「あじさい月スマートコミュニティ構想」を実現する。「あじさい型スマートコミュニティ構想」の事業として北上陸上競技場へ太陽光発電システム及び蓄電池を設置し、併せて総合運動公園内にLED街路灯を設置することにより、災害時等には電力の供給を、平常時にはピークカットを行う。	環境課
ソーラーパーク整備運営事業	地球温暖化防止対策の推進	施設等整備事業				1,378
030200-134-01	市民	26年度に繰り越し。				
ソーラーパーク整備運営事業						
090100-135	04-01-03	07	一般	法令に特に定めのないもの	スマートコミュニティ導入促進事業の認定を受けたいことに伴い、マスタープランに基づき事業を推進する。一次避難所になっている交流センターにEV車、EV車用外部供給装置及びグリット管理システム等を設置する。平成25年度 2カ所(口内・藤根)(明線)平成26年度 5カ所(黒北・黒西・立花・飯豊・江釣子)	地域づくり課
防災拠点強化運営事業	地球温暖化防止対策の推進	施設等整備事業				77
090100-135-01	市民	実施設計業務2カ所 2,160千円 グリット管理システム11,759千円 外部接続ユニット1,080千円 充電設備設置工事23,698千円 電気自動車購入2台6,696千円 合計45,393千円				
防災拠点強化運営事業						
030200-210	04-01-03	08	電気	法令に特に定めのないもの	再生可能エネルギーを有効活用することにより、災害に強くかつ継続可能な事業を有機的に結合した「自立的」かつ「持続可能」な「あじさい型スマートコミュニティ構想」を実現する。メガソーラーを構築し、売電した収益により当構想の運営を支え、併せて、市の再生可能エネルギーの導入促進に寄与する。	環境課
メガソーラー事業	地球温暖化防止対策の推進	施設等整備事業(負担金・補助金)				915,440

評価事業コード	政策体系コード	事業類型CD	会計区分	法令の根拠区分		事業の目的と概要	担当課名
評価事業名称	政策体系名称	事業類型	法令等の名称	関連計画名			フルコスト(千円)
細事業コード	事業の対象	平成25年度事業量		平成24年度事業量		平成23年度事業量	平成22年度事業量
細事業名称							
030200-210-01 メガソーラー事業	市民	6/24業者選定プロポーザル・審査会実施。8/23仮契約・8/27議会議決日本契約。8/28工事着工、3/24完成。北上第1発電所3/4、北上第2発電所3/6売電開始。					
030200-211 発電施設維持管理事業	04-01-03 地球温暖化防止対策の推進	02	電気 施設管理・維持補修事業	法令に特に定めのないもの		「あじさい型スマートコミュニティ構想」の事業としてメガソーラーを構築し、売電した収益により当構想の運営を支え、併せて市の再生可能エネルギーの導入促進に寄与する。発電施設の水路刈払業務。	環境課 2,452
030200-211-01 発電施設維持管理事業	市民	メガソーラー建設用地及び小水路の草刈・処分(2回)、谷地排水路の草刈・処分(1回)。		・水路刈払			
030200-212 一般会計繰出金	04-01-03 地球温暖化防止対策の推進	04	電気 負担金・補助金(義務負担金)	法令に特に定めのないもの		「あじさい型スマートコミュニティ構想」の事業としてメガソーラーを構築し、売電した収益により当構想の運営を支え、併せて一般会計に繰出しすることにより市の再生可能エネルギーの導入促進に寄与する。売電収入の一般会計繰出し。	環境課 2,675
030200-212-01 一般会計繰出金		一般会計繰出金:2,522千円					